

授業科目	整形外科学 脊椎（講義・演習、演習・実習）（整形外科専門医）（臨床専門医コース）		
取得する専門医の名称	日本整形外科学会 整形外科専門医、認定脊椎脊髄病医		
区分・単位	講義・演習 2単位 演習・実習 4単位	関連分野等	神経内科学
年次・期別	1年次～2年次	曜日・時限	講義・演習 月・火 PM6:00～ 演習・実習 月～金 終日
教室	整形外科学研究室	担当者電話番号	086-235-7273
担当教員	【研究科】教授：尾崎敏文， 【病院】講師：田中雅人		
一般目標	脊椎脊髄疾患に関わる広い学識と高度の専門技能を取得し、脊椎脊髄病医としての素養を養う。		
到達目標	1) 脊椎脊髄病疾患の病態を理解し、診察法を習得し、診断することが出来る。 2) 脊髄損傷患者の病態を理解し、診察することができ、その治療法も習得する。 3) 基本的な脊椎手術を習得し、周術期の管理および後療法が行える。 4) 脊椎脊髄病学の臨床研究を理解でき、自ら研究を施行し、大学院終了時までには博士論文が専門分野の国際雑誌に掲載あるいは受領される。		
講義概要	1) 脊椎脊髄病診断学講義（講義と実習）（尾崎，田中）： 脊椎・脊髄の機能解剖や病態の理解、神経学的所見のとり方、診察単純X線・CT・MRIによる画像診断、救急処置と保存的治療、脊髄造影の手技と診断法、神経根ブロックおよび神経根造影の手技の取得など。 2) 脊椎脊髄疾患の外科的手術手技の習熟（尾崎，田中）： 椎弓切除・ヘルニア摘出術・椎弓形成術・後方固定術・頸椎前方固定術・後方椎体間固定術・内視鏡手術や顕微鏡手術などの最小侵襲手術・脊髄腫瘍など。 学会参加：日本整形外科学会総会ならびに地方会に参加する。また、自らも大学院終了時までには総会もしくは地方会で少なくとも2回の発表を行う。国際学会に大学院終了時までには1回発表を行う。 論文作製：国内外で自らが発表したことを論文にまとめる。最低1つは英語の論文を作成する。		
テキスト・参考書等	整形外科学関連の論文、教材を自主的に検索し、最新の知識を習得する。		
成績評価基準 成績評価方法	講義・演習への参加状況、診療活動での貢献、および演習・実習での成果を総合的に判断する。		
研究活動との 関連	習得した知識・技術を、整形外科学・脊椎脊髄疾患の臨床研究に応用する。		

基礎実習	必須ではないが、希望により解剖学教室との連携で可能である。
臨床実習	脊椎脊髄疾患のうち典型的で重要な症例を1例、受け持っていていただきオスキスで習った神経学的所見の習得の実際を行う。さらには手術にも手洗いで立会いを行い、最低でも皮膚の縫合は行う。
症例検討会	火曜と木曜の朝のカンファレンスだけでなく、基本的なMRIやCTの読影の仕方をマスターする。
講義日程	大学のカリキュラムにそった大学院への講義への参加、毎月第2金曜の岡山脊椎脊髄外科症例検討会、年3回行われる全国の著名な脊椎脊髄外科医を招待しての講演（講義）へ参加する。
本年度参加が望ましい学会等	<p>日本整形外科学会</p> <p>日本脊椎脊髄病学会</p> <p>中部整形災害外科学会</p> <p>中四国整形外科学会</p>